

—編集後記—

温暖化対策の中期目標に関する議論がメディア上で活発に交わされています。首相は10年間で温室効果ガスの排出を15%減らす目標を掲げ、環境NGOや野党や大新聞の半数ほどは不十分だと批判しています。声高に温暖化対策を訴える大新聞が決して伝えない事実が一つあります。それは、新聞(特に製紙,印刷,配送)に要する排出の大きさです。私の推算では、本体の製紙だけで総排出量の約1%を占めます。折り込み広告や印刷や配送に要する排出量を加えればその倍くらいになるでしょう。にもかかわらず、新聞業界は文字の大型化を進めています。A4紙1枚の製紙で8gのCO₂が発生します。印刷や配送でその倍になると仮定して、1日63枚で「1人1日1kg」運動は帳消しです。インターネットとPCで情報を伝えられる今日、紙媒体の存在意義は何だろう、と考えてしまいます。

一つ言えることは、pdfファイルをモニターで読んでいてもCO₂は発生する、ということです。100WのノートPCを1時間稼働させるとおよそ37g排出されます。1時間で5頁以上読めるのであればPCの方が、それ以下であれば紙の方が低負荷ということになります。ですので、せめて本書を読んでおられる間はPCの電源を切っではいかがでしょう。

さて、前号より、TeXによる版下作業をSoilWater社に委託しておりますが、TeXの雛形作成や細々としたノウハウの収集にあたっては三重大学の渡辺氏に多大なるご献身を頂きました。この場を借りて感謝申し上げます。私はエジプトに長期出張中でありまして、編集委員長にご負担をかけた上、前編集幹事の宮本輝仁氏に引き続き印刷会社との調整役をお願いしました。快諾して下さった宮本氏に深謝いたします。

藤巻晴行(編集幹事)

土壌物理学会

事務局構成

会 長
副 会 長
庶務幹事
庶務幹事 (会長付き)
会計幹事
編集幹事
会計監査

編集委員会

委 員 長
委 員

井上 光弘 (鳥取大学)
加藤 英孝 ((独)農業環境技術研究所)
木原 康孝 (島根大学)
猪迫 耕二 (鳥取大学)
森 也寸志 (島根大学)
藤巻 晴行 (筑波大学)
石黒 宗秀 (岡山大学)
増永 二之 (島根大学)
諸泉 利嗣 (岡山大学)
江口 定夫 ((独)農業環境技術研究所)
川本 健 (埼玉大学)
北川 徹 ((独)農業・食品産業技術総合研究機構)
小杉 賢一朗 (京都大学)
斉藤 広隆 (東京農工大学)
鈴木 伸治 (東京農業大学)
近森 秀高 (岡山大学)
取出 伸夫 (三重大学)
中村 公人 (京都大学)
中矢 哲郎 ((独)農業・食品産業技術総合研究機構)
原口 暢朗 ((独)農業・食品産業技術総合研究機構)
藤川 智紀 (東京農業大学)
望月 秀俊 ((独)農業・食品産業技術総合研究機構)